



第 16 号
 京都教育大学教育学部
 附属桃山中学校
 同窓会 会報
 発行人 会長 植松恒夫
 京都市伏見区桃山井伊掃部東町16
 TEL (075)-611-0264
 FAX (075)-611-0371

ごあいさつ



桜の便りが各地から聞かれる季節となりました。同窓生の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は同窓会の活動にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて竹村前会長から私が会長を引き継ぎまして以来、同窓会が今後取り組む課題として、二つの項目を挙げて参りました。一つ目は、同窓会活動にシニア世代だけでなく若い世代に積極的に参画して頂くということことです。そのような観点から、今年3年ぶりに開催します同窓会総会「つゆ草の集い」ではこれまでになく、出来るだけ多くの若い世代の同窓生に参加して頂きたいと思っております。そこで、この度は高校生、大学生については参加費を思い切って引き下げることにいたしました。この機会に高校生や大学生の同窓生の皆様にも積極的に参加して頂くようお願いいたします。

同窓会の課題のもう一つは、田村前副会長の提案で始まった情報化の取り組みをさらに一歩前進させ

るということです。これについては、竹村前会長のご努力で開設しました同窓会のホームページ(H.P.)に、各期の同窓会の開催案内および開催報告(同期会便り)が少しずつですが掲載されるようになってまいりました。また同窓生個人の活動ものにつきましても掲載基準を満たすしてあります。是非とも同窓会H.P.にアクセスしてご覧頂き、同窓生同士の情報交換に役立てて頂きたい存じます。

ところで、同窓会活動の予算については現在、毎年3月の卒業生の入会費以外に収入源はありません。H.P.運用にも毎年多額の費用がかかっておりますし、また上で述べました総会開催にも参加費だけでは財政的に厳しい状況です。そこでお願いですが、是非同窓会活動を応援して頂くという趣旨で、ご寄付をお願いしたく存じます。本同窓会誌「つゆ草」と一緒に、寄付金の振り込み用紙を同封しておりますので、是非ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末尾になりましたが、同窓生の皆様そして附属桃山中学校と同窓会の今後の一層の発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

京都教育大学附属桃山中学校
 同窓会会長
 植松恒夫(15期)

第13回 つゆ草の集い

京都教育大学附属桃山中学校 同窓会総会

—プログラム—

講演

「直下型地震・巨大地震の恐怖」

—もう想定外は許されない—

■講師

京都大学名誉教授・近畿職業能力開発大学校校長

家村 浩和 氏(13期)

地震工学の専門家であり同窓会元会長の家村浩和氏に地震災害の教訓などについて、ご講演頂きます。(内容の詳細は6頁参照)



ミニコンサート

おちゆうじ氏

1970年代フォークソング全盛期に一世を風靡した、元「はしだのりひとシューベルツ」のメンバーのおちゆうじさんをお迎えして、ミニフォークライブをお送りします。(おちゆうじ氏のプロフィールは6頁参照)



皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

■とき

2012年6月2日(土)
 午後3時 受付開始
 午後4時 開会
 午後7時 終了予定

■ところ

京都ロイヤルホテル&スパ
<http://www.ishinhotels.com/kyoto-royal/jp/>
 中京区河原町三条上ル東側
 (地下鉄「京都市役所前」から徒歩1分、
 京阪本線「三条」から5分)

■会費

社会人 10,000円
 大学生 3,000円
 高校生 1,000円

※ 出欠のお返事は同封葉書にて
5月7日(月)までにお願いします。

(注) 出席のお返事を頂きながら、
 当日ご欠席されました際には、
 会費をご負担頂く場合もあり
 ますので、何卒ご了承下さい。

活躍できる場があり、認めあえる仲間がいる。

同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。平素より本校教育の推進にご支援をいただきましてありがとうございます。

本校では、11月に平成24年度の学校(入試)説明会をおこないました。600名にもものぼるご来校をいただき、熱気溢れる説明会となりました。説明会后、保護者の方から「良い学校と聞いていますから子どもを是非とも入学させたい」と言われました。「この学校がお子様にとって良い学校かどうかは、本校を卒業されるときに決まるものです。」とお話ししました。難しい高校に、良い高校に入れたかどうかを問題にしているのではなく、「この学校の3年間に、活躍できる場があったか、みんなに認められる活動ができたか、そこに良い学校かどうかの基準があります」とお話ししました。在校生には、日々の学習や学級活動・友達と過ごす時間・文化祭などの校内行事・部活動・生徒会活動に「活躍できる場があった、みんなに認められる活動ができた」といえる学校生活を送ってほしい

と話をしています。

平成21年6月に開催されました第12回つゆ草の集いにお招きいただきました。150名にもものぼる同窓生の方が、杉田二郎氏の「さすらい人の子守唄」戦争を知らない子供たち」を一緒に熱唱され、同期生との再会に時間の経つのを忘れられたかのような一時を過ごされてきました。きつと、どの方にも中学時代に十分な活躍できる場があり、校友に認められる活動をされていたことを想像させられました。そのような活躍活動をされたきた皆様方は、きつと附属桃山中学校を「良い学校」と評価されていると思ひ、羨ましさとも



もに感謝をも覚えた次第です。すべての在校生からも、皆様方と同様の評価を得るような学校づくりをしていかなければならないと改めて感じました。

本校では、平成22年度より社会との相互関係の中で自分らしい生き方を展望し実現していくというねらいのもとに、3日間の職場体験学習をおこなっています。130名ほどの2年生が、約40事業所に分かれて、社会の一員として働くことの満足感・充実感などを体感し学習しています。地域を持たない本校にとって、当初生徒を受け入れていただく事業所探しは難航を極めました。そのような折、同窓会長様の一声で、同窓会役員様がいろいろな事業所にお声をかけていただき、多くの受け入れ事業所をご紹介いただきました。母校のために、惜しむことなく時間と労力をつぎ込まれた姿に、感謝の念を強く抱きました。おかげさまで、同窓生の皆様の暖かい見守りのもと、今年度も135名の生徒が職場体験学習をおこないました。同窓会の皆様からいただきました多大なるご支援に、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

一同、同窓会のますますのご発展を桃山の陵よりお祈り申し上げます。今後とも中学校の教育活動を見守っていただき、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

高木英男(副校長)

わが桃山の丘、青春の丘

私たちが中学時代を過ごした校舎は今の場所から東へ200mほど登った丘の上にありました。周囲に塀もないちっ

「情」でもあります。また付属桃山中学をこよなく愛する「情」でもあります。昔覚えたウルマンの言葉ですが、青春とは人生のある期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いが来る。年は70であろうと、16であろうとその胸中に抱きうるものは何か。人は信念と共に若く、疑惑と共に老ゆる。人は自信と共に若く、恐怖と共に老ゆる。希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる。これらの言葉は私たち高齢者にも若い皆さんにも共通のものであります。今後一層広く同窓生の絆を深めていきたいものです。

付記1、少し前テレビに出た有名塾長の言葉

「ねえラサール(石井)君、人生そんなにシビアじゃなくて、3番、4番でもいいんだよ」

付記2、松下幸之助翁の有名な言葉を引用させていただきます。

「青春とは心の若さである。信念と希望にあふれ勇氣にみちて、日に新たな活動をつづけるかぎり、青春は永遠にその人のものである。」

小関正雄(7期)

京都教育大学附属桃山中学校同窓会

同期会便り

第9期 (昭和32年卒)

京都、東京と毎年春、秋に開催。約30名が集い50年前の青春時代を思い、桃山での3年間の懐かしい思い出に花を咲かせています。又、人生の節目である還暦、古希の時には、京都、東京の中間に位置する「信州」「浜松」一泊旅行を行い、特に信州旅行では、修学旅行で泊まった「浅間温泉ホテル井筒」に拘り投宿しました。7年後の喜寿にも全員が元気で一泊旅行をと思っています。

又参加は自由、行きたい人は集合場所に集う形で「里山を主に」散策、ウォーキングを毎月行っています。今年で5年目に入っています。昨年度の参加者は「年平均…16名/月」であり、毎月であるにも関わらず道中話し声が絶えません。

松本二郎(9期)



第14期 (昭和37年卒)

秋晴れに恵まれた昨年10月29日の土曜日、附属桃山小・中学校の同期会を行いました。

第一部は、総勢28名が参加して、湖東の近江八幡へ散策の旅に出ました。レストランティファニーでステーキランチを頂いたのち、歴史的な街並みを見て歩きました。あるグループは船で八幡堀を、また他のグループはケーブルカーで八幡山を訪ね、また別のグループは瀟洒なカフェで話に熱中しました。駅ロッカーに預けた荷物を出し忘れてJRに乗ってしまった方が取りに戻るといいうハプニングもありましたが、予定通り黄昏時に京都に戻りました。第二部では、京都駅前中華レストラン福幸に38名が集まり、50年ぶりに出席した方の発声で乾杯し、懐かしい話に盛り上がりました。東京周辺からは6名が参加し、また、金沢や北九州からも駆けつけてくれました。滋賀県で池本酒造という蔵元をやっている友人が差し入れてくれた美味しい銘酒でさらに気分が盛り上がり、幼稚園、小学校、中学校の懐かしいアルバム写真を上映しながら往時に想いを馳せました。

第三部は、33名がホテルグランビア最上階のバーに移動し、途中で座席をチェンジしたりして楽しく歓談しました。話題は今回ご欠席の方のことも移り、1年半後の次回でのより多くの方との再会を約束しました。

細見麗子、今村祐嗣(14期)



第16期 (昭和39年卒)

私達、16期生は、戦後のベビーブーマーの世代です。小学校でも、中学校でも、教室いっぱい机を並べ、教室や校舎がどんどん新しく

建て替えられる中で、にぎやかにのびのびと学び遊んだ思い出を持っています。クラス替えと云っても、幼稚園から数えれば10年間を超え、年月を共に過ごして、もうどの人と同じクラスだったか、小学校から一緒だったのか、中学校からだったのか、それらはつきりしないくらい。附属桃山中学校を卒業して、みんなが他校へ進学する最後の学年でした。

中学校の同窓会があれば、二次会に小学校の同窓会をして楽しい同期会をしてきました。

平成21年、ちょうどみんなが還暦と呼ばれる年齢になり、人生も一区切りという時に、琵琶湖畔にお泊りして、小学校と中学校のジョイント同窓会なるものを計画しました。小学校の卒業時の3人の担任の先生方が参加してくださり、懐かしい先生や友と久しぶりにゆっくり語り合うことができました。

そして、昨年、小学校を卒業してちょうど半世紀、というので、第2回のジョイント同窓会をしました。司会の出る幕もないくらい話が弾み、高瀬川べりの「京町屋会議スペースまゆせ」での二次会が散会するまで、なんと、9時間近くを過ごしました。

前回、参加できない方からのフォトレーターや参加者のフォトメッセージなどをまとめてCDを作りま

した。また、集まりたいね、と言っ
て帰路につく度、共に学び、育ち
あつた仲間、育ててくださった先生
方への感謝の気持ちで、私の心は
いっぱいになります。

水谷孝子(16期)



第19期
(昭和42年卒)

私たち19期生は、ここ20年ほど、
毎年夏休みに、幼、小、中卒業生で、
同期会をしています。今年も還暦
を記念して、中学卒業生だけでも
う一度と2回目の同期会をしまし
た。これは平成23年10月9日の写
真です。幹事の久下恭功君、土屋
宣之君たちのご尽力のおかげで、
出席者は95名中31名。恩師の長谷
川治夫先生、沖田耕三先生、種村
裕侑先生もご出席下さいました。

写真では、先生だか生徒だかわか
らない人もいます。リタイアした人
もいますが、まだまだ現役の人もい
ます。19期生は今年も同期会を開
く予定です。同期のみなさん、この
人はだれだ?と思つて出席してみ
てください。お待ちしております。

本庄良文(19期)



第22期
(昭和45年卒)

附属桃山中学校22期の私たち
も50代半ばを過ぎる年になりま
した。思い返してみると、20代、30
代はクラス会を開催しても次回の
幹事が転勤だったりしてなかなか

継続できませんでしたが、40代半
ばごろを境に頻繁に行われるよう
になりました。これは子育てに一区
切りついた女性のパワーの賜物と思
います。最近の中学校クラス会は
平成22年10月9日に種村祐侑先
生、船曳満先生のご参加を頂きま
した。次回は今年の予定です。

本附属学校の特徴として、幼稚
園から高校まで共通のメンバーが
多いので、小学校のクラス会等を含
むとほぼ毎年お互いに会う機会が
あります。しかしご招待する先生
方は卒業時の担任の先生が中心で
いろいろな科目でお世話になった先
生方に十分お声をかけられていな
いことが残念なところです。

そこで様々な機会を創つて、幼稚
園の窪田さち子先生、多根熙子先
生、小学校の清水光夫先生、渡辺
昌嗣先生、高校の長澤直孝先生、
浅田実先生らとお会いできまし
た。皆さん当時のことをよく覚え
てられて、先生方は親との同じ目線
で、私たちは子供の立場の目線で共
通の話題に大変話が弾みます。
本年6月2日の中学校全体の同
窓会総会では、お世話になった恩
師や近い学年の方々とお会いでき
るのが楽しみであると同時に、同
窓会のホームページを通じて先生
方、同窓会会員と交流できればと
期待しております。
写真は平成22年10月9日の中

学校の同窓会です。場所は祇園の
イタリアン・レストラン「カーラ・ラ
ガツツア」です。

田村直樹(22期)



第24期
(昭和47年卒)

平成21年9月27日、ロシアレスト
ラン「キエフ」にて、24期同窓会が開
かれました。参加者は34名、久しぶ
りの再会に、関東からも数名集まっ
てもらえて、旧交を温めました。

杉原先生、川崎先生、袖岡先生、
小島先生、関先生にもご出席いた
だき、お話を聞きながら、自分た
ちが当時の先生方の年齢より上
だということに気づき、月日のたつ
たことを実感しました。二次会か
らの参加もあり、なつかしい顔、声
に囲まれて楽しい一日でした。
これをきっかけに、旧友と会う
機会がふえたり、新しいつながりも
できているようです。
松居 香(24期)

第25期
(昭和48年卒)

本年9月15日(土曜日・3連休
初日)に第25期の同窓会を開催す
る計画をしております。前回の平
成21年5月には50名を越える方
にご参加いただきました。

今回も多くの方にご参加いた
けるよう、同窓生名簿の更新を行
い早めにご連絡させていただき予
定です。どうかご予定いただきま
すようお願い申し上げます。

日時：平成24年9月15日(土)

18時〜

場所：京都市内(詳細未定)

幹事：齊藤・山中・中西(小野木)・

星野(川端)・常田





第28期 (昭和51年卒)

平成22年秋。この年の同窓会は、私たちにとって一つの節目の集まりでした。20歳過ぎから、数年に一度の同窓会を開いてきました。この回は『祝50歳記念同窓会』だったのです。中学を卒業した15歳の私たちの誰が50歳の自分を思い描いていたでしょうか。こうやって同窓会を開いていることを誰が想像していたでしょうか。

15の春を境に、それぞれの道へと分かれたみんなですが、時の隔たりも違和感も無く、ついこの前卒業したかのような雰囲気です。今のことあの頃のこと、お互い話の

尽きることはありません。それぞれの記憶を繋ぎ合せると、鮮明に中学時代が蘇ります。新しい歌は全然覚えられなくなっているのに、中学校の校歌がしっかりと歌える自分たちに感動しました。

参加してくださった先生方。当時の先生達の年齢をはるかに追いつ越してしまっていますが、私達にはいつまでもあの頃の先生です。またお目にかかるのを楽しみにしております。そして、卒業以来まだ会えていない友だちに、次回はどうぞ会えますように。

同窓会をまだされていない学年の方がおられたら、ぜひ再会の機会をおつくり下さい。多感な思春期反抗期の頃の仲間とのひとときは、間違いなく癒しと明日への力となりますから…。

28期生の皆さん、また会いましょう。

藤田(旧姓:多根)路乃(28期)



第35期 (昭和58年卒)

平成24年1月4日18時から木屋町御池を上がった温石左近太郎本店にて35期の同窓会を開催致しました。当時お世話になった、安井先生、井澤先生もお越しいただきました。

25年以上も会っていないが級友との再会もあり、序盤は、皆で近況を報告しあっておりますが、宴の中盤からは中学当時の思

い出話に花が咲きました。見た目は変わっていても、皆、中学時代と変わらず、当時の様子が鮮明に脳裏に浮かび上がってくるようでした。楽しかった思い出や、当時は封印されていた裏話なども飛び出し、人数は12名でしたが、同窓会はたいへん盛り上がり、同時にタイムスリップしたような気分のまま大盛況のうちに幕を閉じました。

フェイスブックでの報告では、参加出来なかった方からも次回は是非！と多数のコメントをいただきました。次回は、夏休みに！と予定を立てております。

参加者(旧姓)・安井先生、井澤先生、上野君、大嶽さん、北原君、佐藤君、小路君、西川君、林さん、山本さん、葭田君、田中(文責)

田中祥之(35期)



第45期 (平成5年卒)

私達、附属桃山中学校45期生は、来年(平成25年)で、卒業後20年が経ちます。月日が経つのも早いもので、我々も気づけば、世の中で活躍されている方々の中でも、中軸を担う世代となりました。

ここ最近、SNS(ソーシャルネットワークサービス)の普及もあり、同窓生同志の交流や情報交換の場が広がりつつあるようになってきています。本当に不思議なもので、同じ成長時期を共にした同窓生は、年月の隔たりも関係なく、まるで童心に戻ったごとくつきあえる大切な仲間であると、私自身、実感しているところです。

さて、同期生(第45期生)の皆さん、来たる平成25年、卒業20周年を祝い、同期会をしてみませんか？現在のところ、企画詳細は全く未定です。今となつては、様々なワールドで活躍されていたり、新しいご家庭を持たれたり、住んでおられる所も様々な皆様ですが、一度この機会にぜひ交流の場を持ち、同窓生の輪を新たに繋げてみましょう。

私もたまたまこういった同窓会の委員という役割を担ってから、初めてに近い呼びかけとなりますが、この企画の実現に向け、皆様の



ご賛同とお力をいただきました。この紙面の場をお借りしてお願いを申し上げます。

桐村慶二(45期)

第59期
(平成19年卒)

1月9日(成人の日)に、59期136名が成人式をむかえました。この機会に祇園の広東料理「天竺」にて、成人式同窓会を開催、卒業以来、学年で集まるのは初めてで、79名の参加となりました。

クラス毎、部活毎にも記念写真をとったり、卒業以来再会の友人もいて、大変賑やかに楽しい時間がありました。

59期同窓会、次は、社会人になつた5年後に。

山田愛実・橋本祥希(59期)

第13回 つゆ草の集い

京都教育大学附属桃山中学校 同窓会総会

■とき・ところ 2012年6月2日(土) 京都ロイヤルホテル&SPA

講演

「直下型地震・巨大地震の恐怖」

—もう想定外は許されない—

■ 講師

京都大学名誉教授・近畿職業能力開発大学校長

家村 浩和 氏(13期)

それぞれ千年に一度ともいわれる神戸直下地震(1995年1月17日)とまだ記憶に新しい東日本巨大地震・津波(2011年3月11日)の両者が、16年の短い期間に続けて発生し、甚大な被害を及ぼしました。地震工学の専門家であり同窓会元会長の同氏にタイプの異なる地震災害の教訓を、また京都における今後の地震防災にどのように生かすべきかについて、お話し頂きます。



ミニコンサート

元「はしだのりひことシューベルツ」のメンバーのおちゆうじさんをお迎えして、ミニフォークライブをお送りします。

おちゆうじ 氏 プロフィール

1969年1月に杉田二郎氏らと共に「はしだのりひことシューベルツ」に参加。「風/なにもいわずに」「さすらい人の子守唄」「朝陽のまえに」「白い鳥にのつて」が大ヒットし「夜のヒットスタジオ」やラジオなどで活躍。1970年解散、2000年代に入り、コープイン京都のコンサートをはじめ、数多くのコンサートで活躍中。2007年5月の杉田二郎氏の40周年コンサートにスペシャルゲストとして参加。最近「SAKE」を音楽配信中。



ホームページのご案内

同窓会では情報化委員会を設けて、ここ数年、同窓会の運営の情報化に取り組んできました。具体的には、理事・評議員間のメールを使った連絡、会員名簿の電子ファイルでの管理、またホームページ開設の準備などです。冒頭の会長挨拶にも記されていますように、この度下記のアドレスに同窓会のホームページを設けていますのでご案内します。

このホームページには、同窓会会報「つゆ草」のバックナンバー(第10号から15号まで)、同期会便り、本年6月開催の同窓会総会の案内が掲載されています。また暫定的な掲載基準が設けられ、同窓生個人の活動についてもこの基準が満たされるものについては掲載しています。是非同窓生同士の情報交換に活用して頂きたいと存じます。



【編集後記】

例年になく居座り続ける寒波のせいで、やっと梅もほころび始めたという今日この頃でございます。本紙が皆様のお手元に届くころには桜の花真つ盛り頃ではないかと思いをめぐらせているところでございます。

さて、昨年の3月11日には東日本大震災が発生し未曾有の被害をもたらしました。1年を経過した今も、未だ復旧は途上であり自然の猛威の前には、ただただ人間の無力さをひしと感じるばかりでございます。来る6月2日に開催予定の「第13回 つゆ草の集い」におきましても「直下型地震・巨大地震の恐怖」との演題で地震工学の専門家である家村元同窓会長・顧問の講演を企画し、予告なく訪れる天災の教訓と備えをお話いただき予定でございます。また、「はしだのりひことシューベルツ」のおちゆうじ氏のミニコンサートも企画いたしました。盛況に満ちたご参加をお待ち申し上げます。

今回は、高木副校長から、附属桃山中学校の近況についてご寄稿いただきました。最近の取り組みとして「職場体験学習」にも触れられております。また、7期小関様からは、われわれ後輩には金言となる貴重なご寄稿をいただきました。さらに、たくさんの皆様から同期会便りをご寄稿頂き、通常の紙面であれば、一部をホームページでの掲載に替えざるをえない状況でございます。同期の仲間との楽しいひとときを、全て、皆様にお届けしたいとの会長及び編集人のわがままです。「つゆ草」至上初の6面の装丁で作成いたしました。少し、読みにくい紙面ではございますが、9期から59期までの実に半世紀にわたる同窓生の多彩さをお楽しみいただければと存じます。

なお、本紙では各期の皆様からの同期会便りのご寄稿を心よりお待ちしております。楽しい写真とともに寄せ下さい。また、本紙をご覧頂きましたら感想や本紙に対する意見なども頂きましたら幸いです。

最後になりましたが、本紙発行にあたり、ご寄稿いただきました高木先生、小関様、並びに9、14、16、19、22、24、25、28、35、45、59期の皆様、さらに、本紙発行にご尽力いただきました関係者各位に深謝いたします。

【同窓会役員】(平成24年3月1日現在)	会長	15期	植松 恒夫
副会長	21期	瓦谷 泰浩	
理事	11期	近藤 秀也	
	13期	百々 藤子	
	15期	佐々木 隆	
	16期	佐藤 孝二	
	17期	中野 正樹	
	18期	田中 陽子	
	19期	安川 順子	
	20期	森川 正樹	
	21期	龍崎 俊子	
監事	2期	松井 京子	
顧問・歴代会長	6期	奥村 浩平	
	11期	長村 俊史	
	12期	田原 浩平	
	10期	竹岡 浩志	
	13期	辻村 浩志	
	10期	山本 一茂	
	11期	桐村 慶二	
	12期	山田 智史	
	13期	奥村 雅子	
	14期	小田 裕次	
	15期	福本 敬子	
	16期	甲斐 純子	
	17期	田村 真樹	
	18期	田中 直樹	
	19期	本庄 美樹	